

2023/11/11(土) 函館脳外傷リハビリテーション講習会 参加報告

文責：リハビリ大淵、鹿内

函館は初雪が降りました！函館国際ホテルにて4年ぶりに函館脳外傷リハビリテーション講習会が開催されました。大淵PT、鹿内STが運営スタッフとして参加しました。大淵は司会、鹿内は会場係を行いました。

当日は80名ほどが参加され、4年ぶりの対面開催は大盛況に終わりました。

講演の内容としては、

① 『高次脳機能障害の相談支援～対応のポイント～』

神奈川リハビリテーション病院総合相談室の瀧澤学先生

② 『壊れているのは脳か社会か』日本高次脳機能障害友の会 片岡保憲先生

上記、2本立ての講演と、高次脳機能障害を抱えながら生活している利用者の方の歌が行われました。

以下、感想です。

大淵PT：

高次脳機能障害になった場合、まずは脳のどこの障害であるか把握することが重要。そして症状として、どのような症状が起こっているのかを理解する。また、年齢によって改善度合いに違いがあり、最低でも1年、中には5年かかっても改善するという理解を持つことが大事だと改めて感じました。

リハビリや対応としては包括的アプローチ(規則正しい生活、外に出ること、家族以外と話すこと)や非日常的体験が大切とのお話がありました。さらに支援する側の環境調整支援(支援するポイントを伝えてあげる)も大切であると感じました。

高次脳機能障害者の方のご家族の意見や専門家の見地を学習する機会はなかなかないので、とても良い経験になりました。

鹿内ST：

当講習会へは4~5度目の参加でした。久しぶりの現地開催ということで、予想以上に来場者数も多く、会場はほぼ満席で大盛況な会となりました。コロナ禍だったこの4年間、WEB研修もたくさん参加しましたが、やはり終了後の学習への実入りが全然違いますね。講演会&交流会で講師の先生から刺激をたくさん頂き、来春からの自分達の新しい試みも今から少しずつ準備していこう、と新たに決意を致しました。

